

# 景気動向調査結果報告書

2012年第I・四半期（1～3月）

VOL. 64

八尾商工会議所

八 尾 市

# 目 次

【調査実施の概要】	1
【調査結果の総括】	2
1. 製造業の景気動向	5
2. 非製造業の景気動向	8
3. 今冬実施した節電対策について	10
4. 経営上の問題点・業界の動向など	11

## 【 調 査 実 施 の 概 要 】

本調査は、地域経済の総合的な動向を把握し、産業振興のための基礎資料の作成及び経営者への情報提供を目的として実施している。1996年7月に第1回目の景気動向調査を実施し、今回（2012年3月実施）の調査で64回目となる。

調査対象事業所は、八尾市内に立地する従業員5人以上の事業所を母集団として、その中から、製造業628社、非製造業（建設業、卸売業、小売業、サービス業）672社の合計1,300社を無作為に抽出した。

調査は、郵便により配布・回収を行う郵送調査法で実施した。

今回の回収率は、下表に示すとおり、製造業が20.4%、非製造業が17.1%、全体では18.7%である（表1～2参照）。

表1. 業種別回答状況

業 種 名		発送数	回答数	回答率
製 造 業	木 材 ・ 紙 ・ 印 刷	98	19	19.4%
	化 学 工 業	100	22	22.0%
	金 属 製 品	115	28	24.3%
	一 般 機 械	96	16	16.7%
	そ の 他 機 械 器 具	85	17	20.0%
	そ の 他 の 製 造 業	134	26	19.4%
製 造 業 計		628	128	20.4%
非 製 造 業	建 設 業	100	17	17.0%
	卸 売 業	128	37	28.9%
	小 売 業	183	27	14.8%
	サ ー ビ ス 業	261	34	13.0%
非 製 造 業 計		672	115	17.1%
合 計		1,300	243	18.7%

表2. 規模別回答状況

規模別	製 造 業			非 製 造 業			全 体		
	発送数	回答数	回答率	発送数	回答数	回答率	発送数	回答数	回答率
5～19人	396	65	16.4%	526	86	16.3%	922	151	16.4%
20～49人	144	30	20.8%	92	18	19.6%	236	48	20.3%
50～99人	48	18	37.5%	27	6	22.2%	75	24	32.0%
100～299人	29	13	44.8%	11	4	36.4%	40	17	42.5%
300人以上	11	2	18.2%	16	1	6.3%	27	3	11.1%
合 計	628	128	20.4%	672	115	17.1%	1,300	243	18.7%

## 【調査結果の総括】

2012年3月の日銀短観（企業短期経済観測調査）における全国の業況判断D I（景気が良いと回答した企業の割合から景気が悪いと回答した企業の割合を引いた値で、企業の景況感を示す）を見ると、全産業はマイナス6となり、前回調査（12月）に比べて改善した（12月=▲7 →3月=▲6、▲はマイナスを表す、以下同様）。業種別にみると、非製造業が前回調査より2ポイント改善（12月=▲7 →3月=▲5）したものの、製造業は2ポイント悪化した（12月=▲5 →3月=▲7）。

近畿地区の業況判断D Iは、全産業で▲9となり、前回調査と同水準にとどまった（12月=▲9 →3月=▲9）。業種別では、製造業（12月=▲8 →3月=▲10）、非製造業（12月=▲9 →3月=▲10）ともに悪化した。製造業では、中国を除くアジア向け輸出の減少が続いており、生産が伸び悩んでいる。非製造業分野では、全国では改善した建設業が横ばいにとどまるなど、震災復興需要が生じにくいことから全国と対照的な動きとなった。

八尾市の景気は、震災直後の急激な落ち込みから基調は弱いながらも回復しつつあったが、足元で再び悪化した。八尾市のD I（※）を見ると（表3および図1～4）、製造業は、生産額前期比D Iは改善の兆しがみられた前期から再び2桁のマイナスに転じ、前年比D Iもマイナス幅が拡大した。非製造業は、売上額前期比D I、前年比D Iともにマイナスが続き、低迷の域を脱していない。もっとも、設備投資は、製造業、非製造業ともにD Iがマイナス圏ではあるが、マイナス幅は着実に縮小している。

なお、先行きについては、製造業、非製造業とも「向こう3ヶ月の景況」D Iはマイナスが縮小する。とりわけ製造業は縮小幅が大きい。これは足元で円高修正が進んだことが影響している可能性がある。

表3. 総括表

景気動向指標		回答数	増加 不足 値上 好転	横這 適正	減少 過剰 値下 悪化	D I							
						2011年					2012年		
						II 4-6	推移	III 7-9	推移	IV 10-12	推移	I 1-3	
製 造 業	前	生 産 額	126	25.4	32.5	42.1	-25.8	↗	-17.2	↑	4.8	↓	-16.7
		出 荷 額	126	26.2	31.7	42.1	-29.6	↑	-17.4	↑	-0.8	↓	-15.9
		製 品 在 庫 額	116	0.9	83.6	15.5	-11.9	↘	-17.6	↗	-14.8	→	-14.6
	期	原 材 料 仕 入 価 格	124	30.6	67.8	1.6	46.8	↘	40.6	↓	22.9	↗	29.0
		製 品 販 売 価 格	128	3.9	78.1	18.0	-12.1	→	-12.2	↘	-17.8	↗	-14.1
		採 算 状 況	128	8.6	52.3	39.1	-46.4	↑	-30.1	↗	-23.1	↘	-30.5
		資 金 繰 り	128	6.3	71.8	21.9	-24.0	→	-22.4	↗	-14.3	→	-15.6
		受 注 状 況	126	15.9	46.8	37.3	-33.9	→	-32.4	↑	-12.9	↘	-21.4
	比	向こう3ヶ月の景況	126	15.1	56.3	28.6	-35.5	↑	-13.4	↓	-36.3	↑	-13.5
	前 同 年 比	生 産 額	127	26.0	37.0	37.0	-22.1	↑	-9.9	↗	-3.2	↘	-11.0
	製 品 販 売 価 格	126	9.5	67.5	23.0	-16.3	↗	-11.4	→	-9.6	↘	-13.5	
	設 備 投 資 額	122	14.8	61.4	23.8	-17.8	→	-16.6	↗	-11.4	→	-9.0	
非 製 造 業	前	売 上 額	113	16.8	34.5	48.7	-46.7	↑	-36.2	↗	-32.7	→	-31.9
	期	採 算 状 況	115	5.2	48.7	46.1	-55.0	↗	-50.5	→	-51.8	↑	-40.9
		資 金 繰 り	115	6.1	59.1	34.8	-32.8	↘	-37.4	↗	-31.5	↗	-28.7
	比	向こう3ヶ月の景況	114	8.8	43.0	48.2	-45.9	→	-46.2	→	-45.9	↗	-39.4
	前 同 年 比	売 上 額	114	19.3	33.3	47.4	-50.8	↗	-45.8	→	-46.8	↑	-28.1
	客 数 ・ 販 売 先 数	113	13.3	48.6	38.1	-47.5	→	-45.3	↗	-39.1	↑	-24.8	
	設 備 投 資 額	106	11.3	51.9	36.8	-43.1	↑	-33.0	↓	-38.2	↑	-25.5	

※ D I（景気動向指数：各景況項目について、「景気や業績の回復を示す回答割合」から「悪化を示す回答割合」を引いた数値。ただし、原材料仕入れ価格に関するD Iは逆。）は、日銀短観では各項目の「水準調査」であるのに対して、本調査では前期と比較した「方向性」を調査している点に留意する必要がある。

図1. 製造業の景気動向

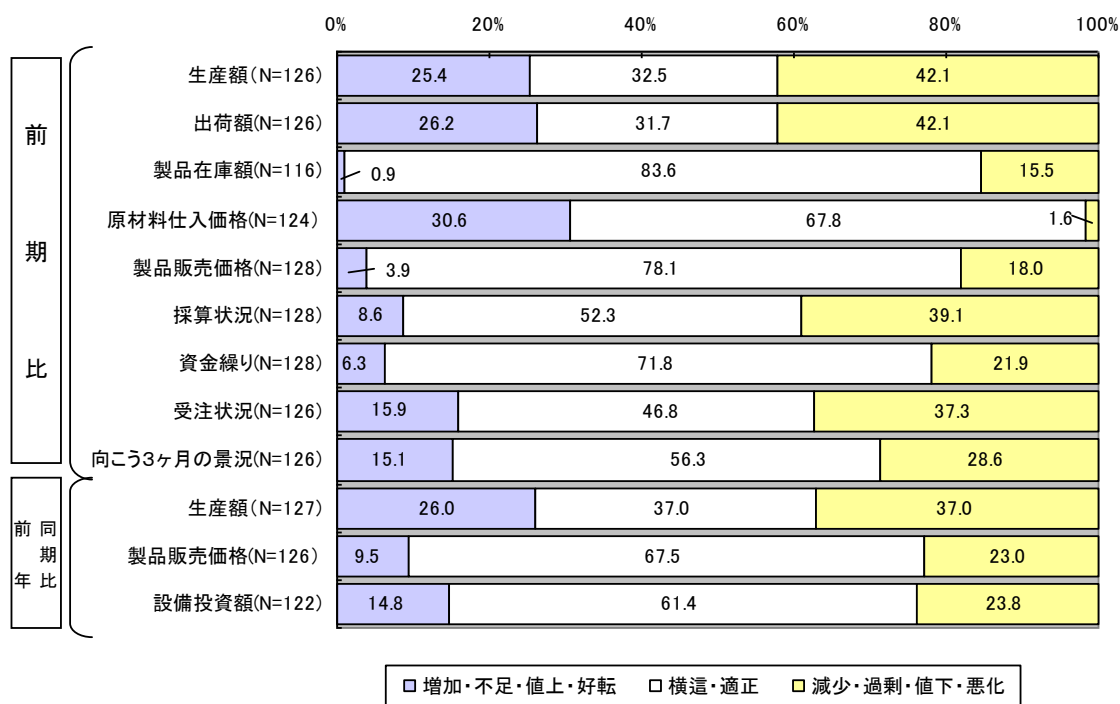


図2. 非製造業の景気動向

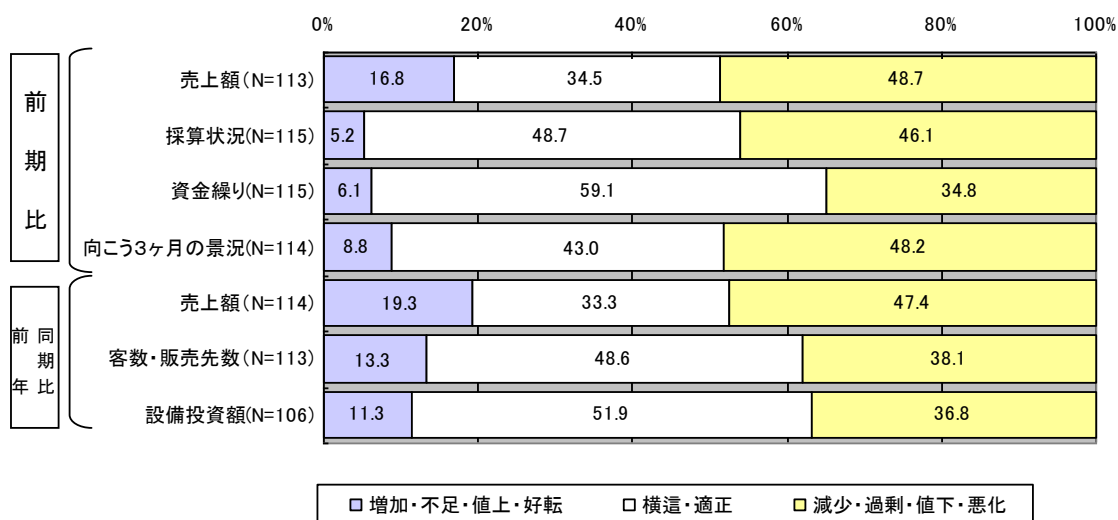


図3. 製造業の景気動向推移(D I: 前年同期比)

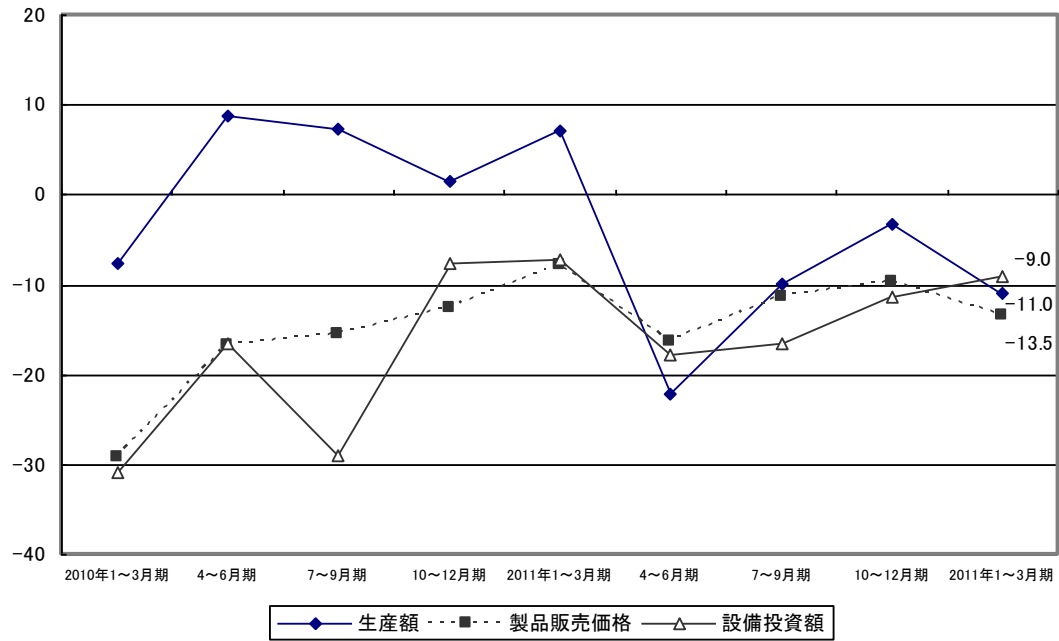
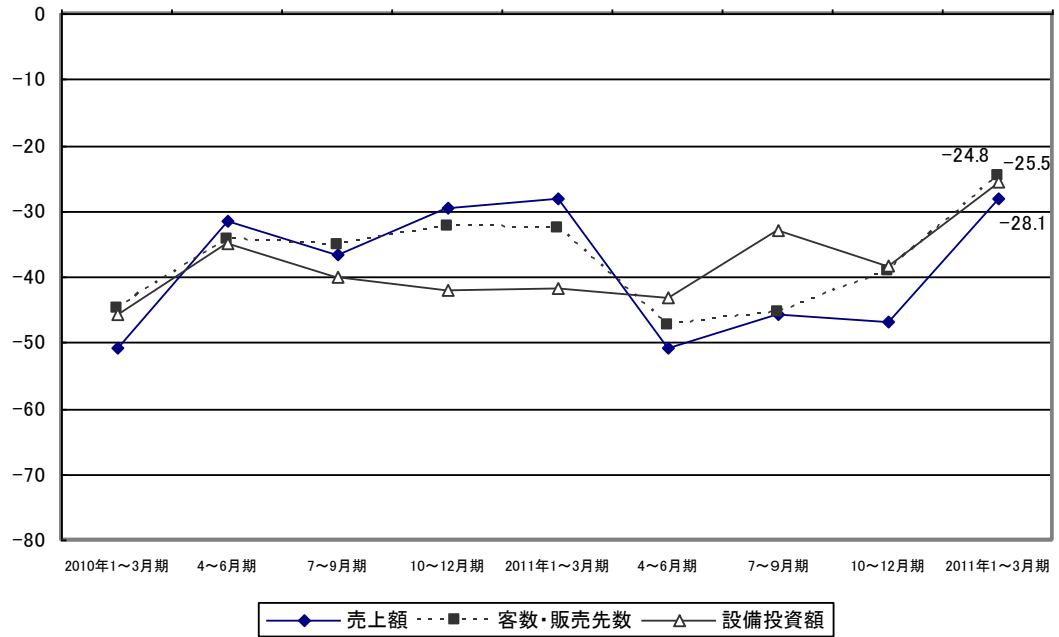


図4. 非製造業の景気動向推移(D I: 前年同期比)



## 1. 製造業の景気動向

### 【生産額】

前期と比べた当期の生産額について、製造業計で見ると、「増加」25.4%、「横這」32.5%、「減少」42.1%で、D Iは▲16.7となった。D Iがマイナスに転じたのは2期振りである（前々回▲17.2→前回4.8→今回▲16.7）。業種別の内訳を見ると、木材・紙・印刷、金属製品がマイナスに転じ、一般機械は±0となった。化学工業、「その他機械器具」、「その他の製造業」はマイナスが続いた。

前年同期と比べた場合、製造業計では「増加」が26.0%、「横這」が37.0%、「減少」が37.0%で、D Iは▲11.0とマイナス幅が拡大した（前々回▲9.9→前回▲3.2→今回▲11.0）。

表4. 生産額

業種	当期の生産額は												
	前期に比べて						前年同期に比べて						
	回答数	増加	横這	減少	D I	前回D I	回答数	増加	横這	減少	D I	前回D I	
製造業	木材・紙・印刷	19	10.5	42.1	47.4	-36.9	11.1	19	15.8	26.3	57.9	-42.1	-5.9
	化学工業	22	22.7	36.4	40.9	-18.2	-7.7	22	22.7	50.0	27.3	-4.6	-7.7
	金属製品	27	25.9	26.0	48.1	-22.2	24.3	28	32.1	35.8	32.1	±0	9.1
	一般機械	16	31.3	37.4	31.3	±0	10.0	15	20.0	46.7	33.3	-13.3	10.0
	その他機械器具	16	31.3	18.7	50.0	-18.7	-22.2	17	29.4	11.8	58.8	-29.4	-33.3
	その他の製造業	26	30.8	34.6	34.6	-3.8	-4.0	26	30.8	46.1	23.1	7.7	-4.0
製造業計	126	25.4	32.5	42.1	-16.7	4.8	127	26.0	37.0	37.0	-11.0	-3.2	

### 【出荷額】

前期と比べた当期の出荷額を製造業計で見ると、「増加」が26.2%に対して、「横這」が31.7%、「減少」が42.1%で、D Iは▲15.9とマイナスが続いた（前々回▲17.4→前回▲0.8→今回▲15.9）。一般機械は改善したが、木材・紙・印刷、金属製品がマイナスに転じ、化学工業や「その他の機械器具」、「その他の製造業」はマイナスが続いた。

表5. 出荷額

業種	当期の出荷額は前期に比べて						
	回答数	増加	横這	減少	D I	前回D I	
製造業	木材・紙・印刷	18	16.7	38.9	44.4	-27.7	5.6
	化学工業	21	19.0	38.1	42.9	-23.9	-7.7
	金属製品	28	21.4	28.6	50.0	-28.6	15.6
	一般機械	16	37.5	37.5	25.0	12.5	5.0
	その他機械器具	17	35.3	11.8	52.9	-17.6	-33.4
	その他の製造業	26	30.8	34.6	34.6	-3.8	-4.0
製造業計	126	26.2	31.7	42.1	-15.9	-0.8	

### 【製品在庫額】

前期と比べた当期の製品在庫額について、製造業計で見ると、「不足」0.9%に対して、「適正」が83.6%、「過剰」が15.5%で、D Iは▲14.6となった。在庫はやや過剰な状態が続いている（前々回▲17.6→前回▲14.8→今回▲14.6）。業種別の内訳を見ると、すべての業種が過剰超であった。

表6. 製品在庫額

業種	当期の製品在庫額は前期に比べて						
	回答数	不足	適正	過剰	D I	前回D I	
製造業	木材・紙・印刷	18	0.0	88.9	11.1	-11.1	-17.6
	化学工業	20	0.0	85.0	15.0	-15.0	-25.0
	金属製品	23	0.0	82.6	17.4	-17.4	-19.2
	一般機械	14	0.0	92.9	7.1	-7.1	-5.3
	その他機械器具	16	0.0	81.2	18.8	-18.8	-23.5
	その他の製造業	25	4.0	76.0	20.0	-16.0	-4.2
製造業計	116	0.9	83.6	15.5	-14.6	-14.8	

### 【 原材料仕入価格 】

前期と比べた当期の原材料仕入価格を製造業計で見ると、「値上」が30.6%、「横這」が67.8%、「値下」が1.6%で、D Iは29.0となった。仕入価格は上昇傾向である（前々回 40.6→前回 22.9→今回 29.0、この項目は「プラス」が「価格上昇」を表す）。業種別にも全業種でプラスであった。

表7. 原材料仕入価格

業 種	当期の原材料仕入価格は前期に比べて						
	回答数	値上	横這	値下	D I	前回D I	
製 造 業	木 材・紙・印 刷	19	57.9	42.1	0.0	57.9	58.8
	化 学 工 業	20	30.0	65.0	5.0	25.0	8.3
	金 属 製 品	28	21.4	78.6	0.0	21.4	25.8
	一 般 機 械	16	31.3	68.7	0.0	31.3	30.0
	そ の 他 機 械 器 具	16	18.8	81.2	0.0	18.8	5.5
	そ の 他 の 製 造 業	25	28.0	68.0	4.0	24.0	8.3
製 造 業 計	124	30.6	67.8	1.6	29.0	22.9	

### 【 製品販売価格 】

前期と比べた当期の製品販売価格について、製造業計で見ると、「値上」が3.9%に対し、「横這」が78.1%、「値下」が18.0%で、D Iは▲14.1となった。販売価格は下落傾向である（前々回▲12.2→前回▲17.8→今回 ▲14.1）。業種別の内訳を見ると、木材・紙・印刷は値上げ超に転じたが、他の業種は値下げ傾向である。

前年同期と比べた場合、製造業計では「値上」が9.5%、「横這」が67.5%、「値下」が23.0%であり、D Iは▲13.5と引き続きマイナスで推移した（前々回 ▲11.4→前回 ▲9.6→今回 ▲13.5）。

表8. 製品販売価格

業 種	当期の製品販売価格は												
	前 期 に 比 べ て						前 年 同 期 に 比 べ て						
	回答数	値上	横這	値下	D I	前回D I	回答数	値上	横這	値下	D I	前回D I	
製 造 業	木 材・紙・印 刷	19	15.8	84.2	0.0	15.8	-6.3	19	21.1	63.1	15.8	5.3	±0
	化 学 工 業	22	0.0	81.8	18.2	-18.2	-15.4	22	4.5	81.9	13.6	-9.1	-7.7
	金 属 製 品	28	0.0	75.0	25.0	-25.0	-21.2	28	10.7	57.2	32.1	-21.4	-15.2
	一 般 機 械	16	0.0	81.2	18.8	-18.8	-15.0	15	6.7	60.0	33.3	-26.6	±0
	そ の 他 機 械 器 具	17	0.0	64.7	35.3	-35.3	-33.3	17	0.0	64.7	35.3	-35.3	-27.8
	そ の 他 の 製 造 業	26	7.7	80.8	11.5	-3.8	-12.5	25	12.0	76.0	12.0	±0	-4.1
製 造 業 計	128	3.9	78.1	18.0	-14.1	-17.8	126	9.5	67.5	23.0	-13.5	-9.6	

### 【 採算状況 】

前期と比べた当期の採算状況を製造業計で見ると、「好転」が8.6%、「横這」が52.3%、「悪化」が39.1%で、D Iは▲30.5と、大幅なマイナスが続いている（前々回▲30.1→前回▲23.1→今回▲30.5）。業種別にも、全業種で悪化超の状態が続いた。

表9. 採算状況

業 種	当期の採算状況は前期に比べて						
	回答数	好転	横這	悪化	D I	前回D I	
製 造 業	木 材・紙・印 刷	19	0.0	63.2	36.8	-36.8	-33.3
	化 学 工 業	22	4.5	68.2	27.3	-22.8	-30.8
	金 属 製 品	28	14.3	42.8	42.9	-28.6	-12.1
	一 般 機 械	16	18.8	37.4	43.8	-25.0	-15.0
	そ の 他 機 械 器 具	17	5.9	41.2	52.9	-47.0	-44.4
	そ の 他 の 製 造 業	26	7.7	57.7	34.6	-26.9	-16.7
製 造 業 計	128	8.6	52.3	39.1	-30.5	-23.1	



### 【 資金繰り 】

前期と比べた当期の資金繰りを製造業計で見ると、「好転」が6.3%に対して、「横這」が71.8%、「悪化」が21.9%であり、D Iは▲15.6と、厳しい状況が続いている（前々回 ▲22.4→前回 ▲14.3→今回 ▲15.6）。業種別の内訳をみると、すべての業種で悪化傾向にある。

### 【 受注状況 】

前期と比べた当期の受注状況を製造業計で見ると、「増加」が15.9%、「横這」が46.8%、「減少」が37.3%で、D Iは▲21.4と悪化傾向にある（前々回 ▲32.4→前回 ▲12.9→今回 ▲21.4）。業種別の内訳をみると、一般機械で下げ止まりの兆しがみられるが、それ以外の業種では受注が減少する傾向にある。

### 【 設備投資額 】

前年同期と比べた当期の設備投資額を製造業計で見ると、「増加」が14.8%に対し、「横這」が61.4%、「減少」が23.8%で、D Iは▲9.0である。D Iは依然としてマイナスであるが、その幅は着実に縮小した（前々回 ▲16.6→前回 ▲11.4→今回 ▲9.0）。業種別の内訳をみると、金属製品がプラスに転じ、木材・紙・印刷では下げ止まりの傾向がみられる。それ以外の業種はマイナスである。

### 【 向こう3ヶ月の景況 】

向こう3ヶ月の景況を製造業計で見ると、「好転」が15.1%に対して、「横這」が56.3%、「悪化」が28.6%で、D Iは▲13.5であった。依然としてマイナスではあるが、その幅はいくぶん縮小した（前々回 ▲13.4→前回▲36.3→今回▲13.5）。業種別の内訳をみると、化学工業、一般機械で下げ止まりの傾向がみられた。

表10. 資金繰り

業種	当期の資金繰りは前期に比べて						
	回答数	好転	横這	悪化	D I	前回D I	
製造業	木材・紙・印刷	19	0.0	78.9	21.1	-21.1	-22.2
	化学工業	22	4.5	81.9	13.6	-9.1	-23.1
	金属製品	28	10.7	64.3	25.0	-14.3	-6.0
	一般機械	16	12.5	62.5	25.0	-12.5	-5.0
	その他機械器具	17	0.0	64.7	35.3	-35.3	-38.9
	その他の製造業	26	7.7	76.9	15.4	-7.7	-4.2
製造業計	128	6.3	71.8	21.9	-15.6	-14.3	

表11. 受注状況

業種	当期の受注状況は前期に比べて						
	回答数	増加	横這	減少	D I	前回D I	
製造業	木材・紙・印刷	19	5.3	57.9	36.8	-31.5	-11.1
	化学工業	21	19.0	42.9	38.1	-19.1	-15.4
	金属製品	28	14.3	50.0	35.7	-21.4	6.2
	一般機械	16	31.3	37.4	31.3	±0	-5.3
	その他機械器具	17	17.6	23.6	58.8	-41.2	-50.0
	その他の製造業	25	12.0	60.0	28.0	-16.0	-16.6
製造業計	126	15.9	46.8	37.3	-21.4	-12.9	

表12. 設備投資額

業種	当期の設備投資額は前年同期に比べて						
	回答数	増加	横這	減少	D I	前回D I	
製造業	木材・紙・印刷	19	5.3	89.4	5.3	±0	-11.1
	化学工業	22	9.1	68.2	22.7	-13.6	-23.1
	金属製品	26	23.1	57.7	19.2	3.9	±0
	一般機械	14	14.3	57.1	28.6	-14.3	±0
	その他機械器具	17	23.5	23.6	52.9	-29.4	-29.4
	その他の製造業	24	12.5	66.7	20.8	-8.3	-16.7
製造業計	122	14.8	61.4	23.8	-9.0	-11.4	

表13. 向こう3ヶ月の景況

業種	向こう3ヶ月の景況						
	回答数	好転	横這	悪化	D I	前回D I	
製造業	木材・紙・印刷	18	11.1	66.7	22.2	-11.1	-47.1
	化学工業	22	27.3	45.4	27.3	±0	-46.1
	金属製品	28	7.1	60.8	32.1	-25.0	-27.3
	一般機械	16	25.0	50.0	25.0	±0	-36.8
	その他機械器具	16	6.3	49.9	43.8	-37.5	-61.1
	その他の製造業	26	15.4	61.5	23.1	-7.7	-16.7
製造業計	126	15.1	56.3	28.6	-13.5	-36.3	

## 2. 非製造業の景気動向

### 【建設業】

前期との比較をD Iの推移で見ると、売上額、工事引合件数、受注状況はマイナス幅が拡大し、厳しい状況にある。資材仕入価格や労務費は上昇傾向にあり、コスト増のなか、採算は厳しい状況が続いている。向こう3ヶ月の景況はマイナスとなっており悪化が見込まれている。

前年同期との比較をD Iの推移で見ると、売上額、受注状況ともに前期比同様マイナス幅は拡大した。設備投資額はマイナス傾向を辿っているが、その幅はいくぶん縮小した。

表14. 建設業の景気動向

景気動向指標	回答数	増加 不足 値上 好転	横這 適正	減少 過剰 値下 悪化	D I							
					2011年						2012年	
					II 4-6	推移	III 7-9	推移	IV 10-12	推移	I 1-3	
前期 比	売上額	17	17.6	35.3	47.1	-35.3	↓	-58.8	↑	-23.6	↘	-29.5
	資材仕入価格	17	5.9	94.1	0.0	58.8	↓	23.5	→	23.5	↓	5.9
	労務費	17	17.6	82.4	0.0	11.8	↓	±0	↑	23.5	↑	17.6
	工事引合件数	17	11.8	41.1	47.1	-23.6	↓	-35.3	↑	-5.9	↓	-35.3
	受注単価	17	5.9	41.2	52.9	-52.9	↑	-41.2	↘	-47.0	→	-47.0
	採算状況	17	0.0	41.2	58.8	-58.8	↓	-70.6	↗	-64.7	↗	-58.8
	資金繰り	17	0.0	58.8	41.2	-41.2	→	-41.2	↗	-35.3	↘	-41.2
	受注状況	17	5.9	35.3	58.8	-23.6	↓	-58.8	↑	-29.4	↓	-52.9
	向こう3ヶ月の景況	17	5.9	41.2	52.9	-29.4	↓	-47.1	↑	-29.5	↓	-47.0
前同 年比	売上額	17	17.6	29.5	52.9	-41.1	↓	-68.8	↑	-29.5	↘	-35.3
	受注状況	17	11.8	29.4	58.8	-35.3	↓	-56.2	↑	-23.6	↓	-47.0
	設備投資額	16	6.3	49.9	43.8	-56.3	↗	-46.7	↓	-60.0	↑	-37.5

### 【卸売業】

前期との比較をD Iの推移で見ると、売上額、販売先数、客単価はマイナスが続き、悪化している。商品仕入価格はプラスが続いているが、プラス幅は縮小し一方的な値上がり傾向が収まる兆しがみられる。もっとも販売価格は依然として値下げ圧力が強く、採算状況は悪化傾向である。

前年同期との比較をD Iで見ると、売上額、販売先数はマイナスが続いているが、その幅は若干ながら縮まった。設備投資額もマイナス幅が縮小した。

表15. 卸売業の景気動向

景気動向指標	回答数	増加 不足 値上 好転	横這 適正	減少 過剰 値下 悪化	D I							
					2011年						2012年	
					II 4-6	推移	III 7-9	推移	IV 10-12	推移	I 1-3	
前期 比	売上額	36	13.9	27.8	58.3	-42.4	↑	12.5	↓	-2.9	↓	-44.4
	販売先数	36	5.6	75.0	19.4	-17.6	↑	3.1	↓	-20.6	↗	-13.8
	客単価	37	5.4	62.2	32.4	-41.2	↑	±0	↓	-14.7	↓	-27.0
	商品仕入価格	35	17.1	68.6	14.3	29.4	↑	40.6	↓	8.8	↘	2.8
	商品在庫	37	10.8	70.3	18.9	-29.4	↑	-12.5	→	-14.7	↗	-8.1
	商品販売価格	37	5.4	70.3	24.3	-14.7	↑	-3.2	↘	-11.8	↘	-18.9
	採算状況	37	2.7	54.1	43.2	-41.2	↗	-31.3	↘	-41.2	→	-40.5
	資金繰り	37	0.0	78.4	21.6	-15.1	↓	-28.2	↑	-8.8	↓	-21.6
	粗利益率	37	2.7	56.8	40.5	-38.2	→	-37.5	↘	-47.0	↗	-37.8
向こう3ヶ月の景況	37	10.8	48.7	40.5	-38.3	↑	-28.1	↓	-51.5	↑	-29.7	
前同 年比	売上額	36	25.0	33.3	41.7	-52.9	↑	±0	↓	-23.6	↗	-16.7
	販売先数	36	13.9	63.9	22.2	-44.2	↑	-6.3	↓	-26.4	↑	-8.3
	設備投資額	33	9.1	66.7	24.2	-25.0	↑	-13.3	↓	-27.3	↑	-15.1

## 【小売業】

前期との比較をD Iの推移で見ると、売上額は大幅なマイナスが続き、きわめて不振である。一方、商品仕入価格の値上がり超幅が縮小するもとで商品販売価格も値上げ超に転じた。しかしながら、販売先数や客単価は依然としてマイナスで、採算状況は引き続き大幅な悪化が続いている。向こう3ヶ月の景況も依然として大幅な悪化が見込まれている。

前年同期との比較をD Iの推移で見ると、売上額、販売先数ともに大幅なマイナスと減少している。設備投資はマイナスであるが、その幅は減少した。

表16. 小売業の景気動向

景気動向指標	回答数	増加 不足 値上 好転	横這 適正	減少 過剰 値下 悪化	D I							
					2011年						2012年	
					II 4-6	推移	III 7-9	推移	IV 10-12	推移	I 1-3	
前期 比	売上額	27	7.4	37.0	55.6	-50.0	↓	-63.0	↑	-50.0	→	-48.2
	販売先数	27	0.0	37.0	63.0	-56.7	↗	-51.9	↗	-42.3	↓	-63.0
	客単価	27	7.4	48.2	44.4	-43.3	↗	-33.3	↓	-48.0	↑	-37.0
	商品仕入価格	27	25.9	66.7	7.4	23.3	↑	37.0	↘	30.8	↓	18.5
	商品在庫	27	3.7	85.2	11.1	-6.9	→	-7.4	→	-8.0	→	-7.4
	商品販売価格	27	14.8	77.8	7.4	-10.3	→	-11.1	↓	-34.7	↑	7.4
	採算状況	27	3.7	44.4	51.9	-69.0	↗	-65.4	↑	-46.1	→	-48.2
	資金繰り	27	11.1	40.8	48.1	-44.8	↘	-50.0	↗	-44.0	↗	-37.0
	粗利益率	27	3.7	33.3	63.0	-63.3	↑	-50.0	↓	-57.7	→	-59.3
向こう3ヶ月の景況	26	3.8	38.5	57.7	-58.7	↗	-53.8	↓	-61.5	↗	-53.9	
前同期 年比	売上額	27	11.1	25.9	63.0	-60.0	↓	-74.1	↓	-80.8	↑	-51.9
	販売先数	27	7.4	37.0	55.6	-66.6	↓	-77.8	↑	-61.5	↑	-48.2
	設備投資額	25	12.0	44.0	44.0	-48.3	→	-48.0	→	-50.0	↑	-32.0

## 【サービス業】

前期との比較をD Iの推移で見ると、売上額、客数の面でマイナス幅が大きく縮小した。このもとで採算状況、資金繰り、粗利益率も悪化超幅が縮んだ。もともと、向こう3ヶ月の景況については依然として慎重な見方が根強い。

前年同期との比較をD Iでみると、売上額、客数ともマイナス幅が大きく縮小した。設備投資額もマイナス幅が縮んだ。

表17. サービス業の景気動向

景気動向指標	回答数	増加 不足 値上 好転	横這 適正	減少 過剰 値下 悪化	D I							
					2011年						2012年	
					II 4-6	推移	III 7-9	推移	IV 10-12	推移	I 1-3	
前期 比	売上額	33	27.3	39.4	33.3	-52.5	→	-50.0	↘	-54.5	↑	-6.0
	客数	33	18.2	48.5	33.3	-45.0	↘	-50.0	↘	-54.5	↑	-15.1
	客単価	33	9.1	45.4	45.5	-50.0	↗	-46.9	↘	-54.6	↑	-36.4
	採算状況	34	11.8	50.0	38.2	-55.0	↗	-46.9	↓	-60.6	↑	-26.4
	資金繰り	34	11.8	52.9	35.3	-35.0	→	-34.4	↘	-43.8	↑	-23.5
	粗利益率	34	14.7	29.4	55.9	-58.9	↑	-45.2	↘	-54.6	↑	-41.2
	向こう3ヶ月の景況	34	11.8	41.1	47.1	-50.0	↘	-58.0	↑	-36.4	→	-35.3
前同期 年比	売上額	34	20.6	41.2	38.2	-46.1	↓	-56.2	↗	-53.1	↑	-17.6
	客数	33	18.2	51.5	30.3	-41.0	↓	-51.6	↗	-42.4	↑	-12.1
	設備投資額	32	15.6	43.8	40.6	-48.7	↑	-33.4	↗	-30.0	↗	-25.0

### 3. 今冬実施した節電対策について

原子力発電所の停止による電力不足に対応するため、関西電力は事業所や家庭に対し、2011年12月9日から2012年3月23日までの間、前年の冬の使用最大電力比10%以上の節電を要請した。この夏についても節電を要請するとしている。そこで今回の調査では、事業所が今冬にどのような節電対策を講じたかについてたずねた。

回答事業所全体（209事業所）では、最も多くの事業所が実施したのが「空調の調整（設定温度の変更、空調の一部停止など）」であり、77.0%（複数回答、以下同）であった。これに次いで多かったのが「照明機器の調整（不使用時の電源オフ、バッテリー活用など）」で67.9%あった。これら以外の対策を実施した事業所の割合は大きく下がり、「電力以外（石油・ガス等）を使用する空調機器の活用」は26.3%、「省エネ設備・備品の導入・活用（LED照明の導入など）」は17.7%、「OA機器の調整（不使用時の電源オフ、バッテリー活用など）」が16.3%であった。「断熱シート、カーテンの活用などによる遮断」は9.6%、「動力調整（エレベーターの稼働削減・停止など）」は6.2%と一割に満たなかった。「空調の調整」、「照明機器の調整」に回答が集中しており、この2つがどの事業所でも対策が取りやすかったと考えられる。

業種別にみると、製造業計、非製造業計ともに、概ね同様の傾向がみられるが、製造業の方が各種対策とも実施割合が多かった（「電力以外を使用する空調機器の活用」を除く）。

さらに詳細にみると、①「電力以外を使用する空調機器の活用」について卸売業（41.4%）、小売業（39.1%）、「その他機械器具」（37.5%）、一般機械（33.3%）で多く取り組まれている、②「省エネ設備・備品の導入・活用」で「その他の製造業」（31.8%）が多い、③「OA機器の調整」で建設業（33.3%）、金属製品（30.8%）の取り組みが積極的である、という特徴がみられる。

表18.事業所で今冬実施した節電対策について(複数回答)

区 分	回答事業所数	回答事業所数の割合(%)								
		空調の調整 (設定温度の変更、空調の一部停止など)	照明機器の調整 (不使用時の電源オフ、バッテリー活用など)	電力以外 (石油・ガス等) を使用する 空調機器の 活用	省エネ設備・ 備品の導入・ 活用(LED照明 の導入など)	OA機器の調整 (不使用時の 電源オフ、 バッテリー 活用など)	断熱シート、 カーテンの 活用などに よる遮断	動力調整 (エレベーター の稼働削減・ 停止など)	その他の対策	
全 体	209	77.0	67.9	26.3	17.7	16.3	9.6	6.2	4.8	
製 造 業 計	115	77.4	70.4	21.7	20.0	17.4	12.2	7.0	5.2	
非 製 造 業 計	94	76.6	64.9	31.9	14.9	14.9	6.4	5.3	4.3	
業 種 別	製 木 材 ・ 紙 ・ 印 刷	18	55.6	77.8	16.7	5.6	16.7	5.6	5.6	11.1
	化 学 工 業	18	83.3	72.2	11.1	22.2	11.1	16.7	11.1	5.6
	金 属 製 品	26	76.9	80.8	11.5	19.2	30.8	19.2	3.8	0.0
	一 般 機 械	15	73.3	60.0	33.3	13.3	6.7	6.7	0.0	6.7
	そ の 他 機 械 器 具	16	93.8	56.3	37.5	25.0	18.8	18.8	6.3	6.3
	そ の 他 の 製 造 業	22	81.8	68.2	27.3	31.8	13.6	4.5	13.6	4.5
	非 製 造 業									
建 設 業	15	93.3	93.3	20.0	13.3	33.3	6.7	6.7	0.0	
卸 売 業	29	75.9	62.1	41.4	20.7	17.2	6.9	13.8	6.9	
小 売 業	23	69.6	56.5	39.1	13.0	8.7	4.3	0.0	0.0	
サ ー ビ ス 業	27	74.1	59.3	22.2	11.1	7.4	7.4	0.0	3.7	

#### 4. 経営上の問題点・業界の動向など

できるだけ原文のまま掲載していますが、一部にご意見の主旨を曲げることなく加筆・修正している場合があります。また、以下の意見は、調査を実施した2012年3月時点での表現となっております。ご了承下さい。

業種	規模	コメント
パルプ・紙・紙加工品製造業	A	暗中模索、世情不安。
	A	H23. 11～12 ダンボール原紙値上。 H24. 1～2 ダンボールシート値上。 H24. 3～4 ダンボールケース値上予定。
	B	材料は値上りしたものの製品にはなかなか。値上げ難航している状況。
出版・印刷・同関連産業	A	2、3月は例年通りかなり好調になり、ほっとしている。4月以降が昨年よりも当然良くなってほしい。
プラスチック製品製造業(別掲を除く)	A	原料高、製品横ばい又は値下げ、受注減で大変です。
	D	震災後、今年が「並年」または、それ以上の年として回復出来るかが鍵とみる。
その他の製造業	B	最善を尽くす。結果はおのずからついてくると思う。
設備工事業	A	先行き不透明の為、毎月が不安定で目先が見えない状況です。 ※単価の値下りがきついです。「相見積」が多い。
飲食料品卸売業	A	東京集中型はダメ。関西に企業移動も必要かと思う。又、海外へ移動企業はもっと考えて、日本で経営も考えて欲しい。
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	A	景気が非常に悪いです。政府も早急に景気対策してほしいです。
	A	日本の国の方針が定まっていないのが一番心配。

業種	規模	コメント
機械器具卸売業	A	少し動きが出てきた感じがする。しかし先は不透明。
各種商品小売業	B	デフレ経済から日銀主導による健全な（年率3～4%）インフレ経済への実効政策を待望する。
飲食料品小売業	A	空き店舗が多すぎるため、駅前でもだめ。
	B	どの小売業も生き残りをかけ価格競争をしている。
洗濯・理容・浴場業	A	お客様の来店周期が長くなっている。
物品賃貸業	A	借入金の一部返済完了と売上増により、少し資金繰りが楽になったので設備投資をしたが、何時売上が頭打ちするか不明の為、これ以上の投資は控える積り。

(注1) 規模区分

A=5～19人	B=20～49人	C=50～99人	D=100～299人	E=300人以上
---------	----------	----------	------------	----------

(注2) プラスチック製品製造業（別掲を除く）の別掲製造品は以下のとおり

家具・装備品、プラスチック製版、写真フィルム（乾板を含む）、手袋、耐火物、と石、模造真珠、目盛りのついた三角定規、注射筒、義歯、装身具・装飾品・ボタン・同関連品（貴金属・宝石製を除く）、かつら、時計側、楽器、がん具、運動用具、ペン・鉛筆・絵画用品・その他の事務用品、漆器、畳、うちわ・扇子・ちょうちん、ほうき、ブラシ、喫煙用具（貴金属・宝石製を除く）、洋傘・和傘・同部分品、魔法瓶、看板、標識機、パレット、モデル、模型、工業用模型、レコード、眼鏡